



はじめに

お使いになる前に.....	2
各部の名称.....	3
本製品の機能.....	4

基本操作

パソコンとつなぐ.....	5
使う.....	7
取り外す.....	9

添付アプリ

姿勢表示アプリ G-SENS・MONITOR	10
G センサーの感度を切り替える	11

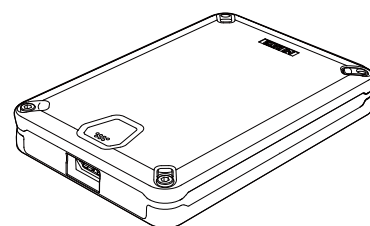
フォーマット

フォーマットする.....	13
---------------	----

初心者用

データをコピーする.....	16
----------------	----

下線付き文字をクリックすると、リンク先のページへ移動します。
[HOME] で先頭ページに戻り、[END] で最終ページを表示します。
[Alt] + [←] で前のページに戻ります。
[→] は次ページ、[←] は前ページを表示します。



お使いになる前に

本製品は、ご購入時 NTFS 形式でフォーマットされています。
Mac OS でご使用時は、Mac OS 拡張形式でフォーマットする必要があります。

フォーマットが必要な場合

- Windows で使用していたハードディスク（NTFS 形式）を Mac OS で使用する場合
- フォーマット形式を変更したい場合（FAT32 形式→Mac OS 拡張）

フォーマットについて

ハードディスクを、お使いのパソコンで読み書きできる状態にする作業です。
フォーマットにはいくつか種類があり、お使いの OS によって認識できるフォーマット形式が異なります。ご利用の環境にあわせてフォーマットをしてください。

●フォーマット形式について

Mac OS 拡張形式	Mac OS 専用の形式です。4GB 以上のファイルを保存することができます。 Windows では使用できません。 ※フォーマット方法は、 フォーマットする（13 ページ） をご覧ください。
NTFS	Windows 用のファイルシステムです。 4GB 以上のファイルも保存できます。 Mac OS では読み込みのみ可能です。（保存はできません。）
FAT32	Windows と Mac OS のどちらでも使用できる形式ですが、4GB 以上のファイルを保存することはできません。

	Mac OS 拡張	NTFS	FAT32
Mac OS 10.6 ~ 10.8	◎	△	○※ 1
Windows 8/7/Vista	×	◎	○
Windows XP	×	◎	○

◎：読み込み、保存とも可能です。

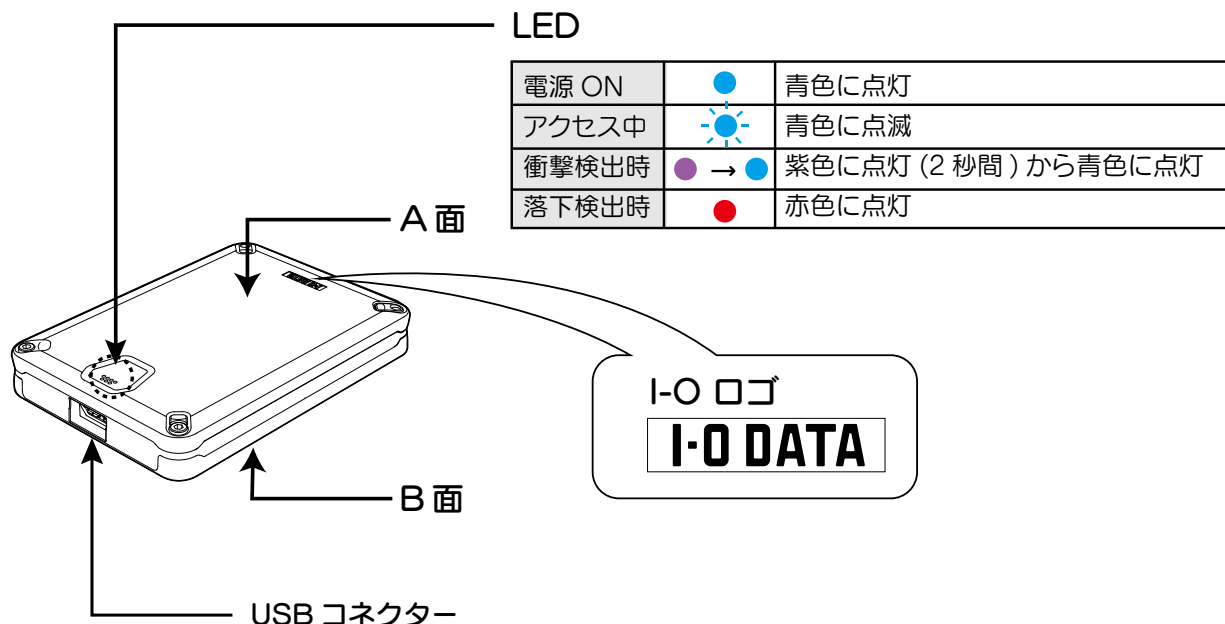
○：読み込み、保存とも可能です。（4GB 以上のファイルは扱えません。）

△：読み込みのみ可能です。保存はできません。

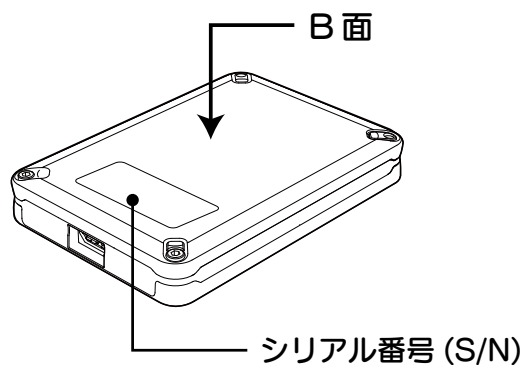
※ 2 FAT32 フォーマットの場合、Mac 環境でマウントする場合に時間がかかることがあります。

各部の名称

以下に本製品の名称について説明します。



※添付の USB 3.0 ケーブルを接続します。
USB 3.0 ケーブルは 2 本添付されています。
使いやすい方をお使いください。

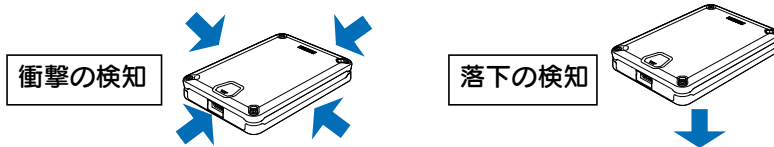


本製品の機能

本製品は、G センサーを内蔵した耐衝撃機能を持っています。
G センサーで衝撃・落下を検知して、本体の制御をおこないます。

■衝撃・落下検知機能

G センサーで衝撃、落下を検知した場合、以下の制御をおこないます。



状態	本体の制御
衝撃検知	ハードディスクが損傷する危険性を軽減するため、一時的に処理を保留し、約 1 秒～約 2 秒後に処理を再開します。
落下検知	処理を中断して、ハードディスクの電源を切ります。 いったん、ハードディスクをパソコンから抜き差し、もう一度、落下前の操作をおこなってください。

●センサーの感度を調節できます。

感度高 → 感度中 → 感度低

→ センサー OFF

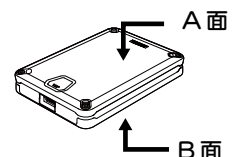
※センサー感度の調節は、G センサーの感度を切り替える (11 ページ) をご覧ください。

■G-SELECTOR 機能

G センサーで、本製品の現在の向き (A 面 / B 面) を検出します。

パソコンに接続時には、以下の動作をおこないます。

A 面 / B 面	パソコンと接続したときの動作
A 面を上	ハードディスクドライブと仮想 DVD-RW ドライブとして認識します。 仮想 DVD-RW ドライブには、通常の DVD-RW ドライブとして、書き込み、読み出しがおこなえます。   ハードディスク 仮想 DVD-RW
B 面を上	ハードディスクドライブと仮想サポートソフト CD-ROM として認識します。 サポートソフト (CD-ROM) 内には、サポートソフトウェアが収録されていて、実行することができます。   ハードディスク 仮想サポートソフト CD-ROM



■G-SENS・MONITOR (姿勢表示機能)



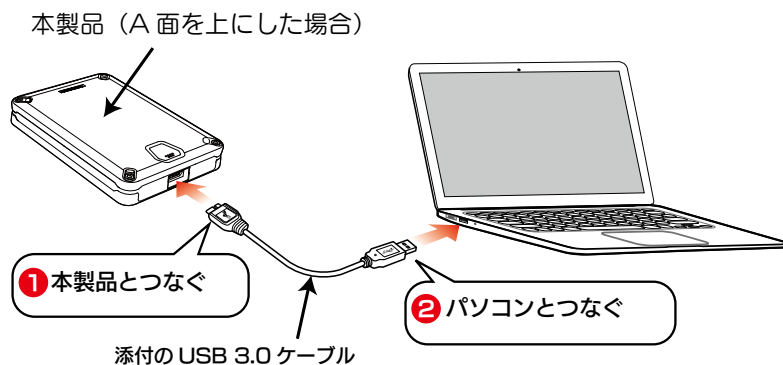
本製品の現在の姿勢状態を、3D モデリングで表示します。

※姿勢表示アプリ G-SENS・MONITOR (10 ページ) 参照

パソコンとつなぐ

1 パソコンの電源をオンにします。

2 パソコンに接続します。



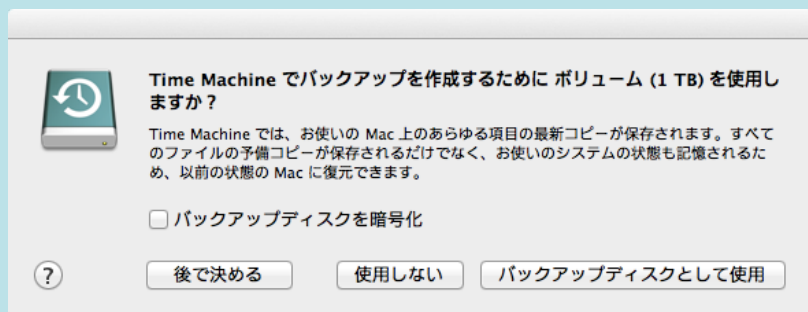
※パソコン本体の USB バス電源供給性能により、一部の機種においてオプションの AC アダプターが必要な場合があります。詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.iodata.jp/>

3 本製品をはじめてパソコンに接続するときは、フォーマットします。
フォーマット方法は、[フォーマットする（13 ページ）](#)を参照。

Time Machine 画面が表示された場合

本製品をパソコンに接続した際、Mac OS の仕様で、Time Machine 機能の画面が表示されることがあります。[バックアップディスクとして使用] をクリックすると、本製品のフォーマットがおこなわれます。誤ってデータを消去しないようご注意ください。



(注意) 本製品使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障や万一に備えて定期的にバックアップをおこなってください。

- 4** デスクトップ上のアイコンの追加を確認します。
下記のハードディスクのアイコンが追加されていれば、本製品を使用できます。



ハードディスク

+



仮想 DVD-RW ドライブ
(A 面を上にした場合)

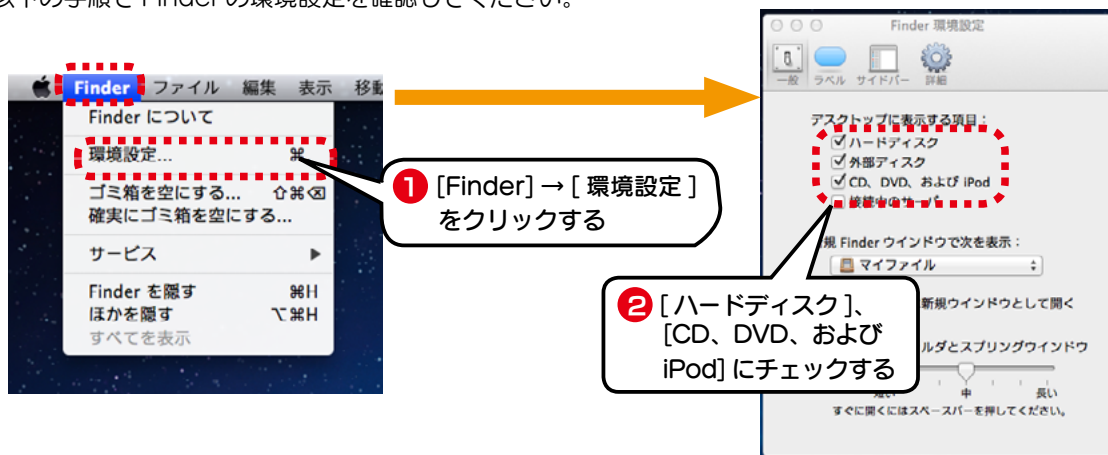
または



CD-ROM
(B 面を上にした場合)

アイコンが表示されない場合は？

以下の手順で Finder の環境設定を確認してください。



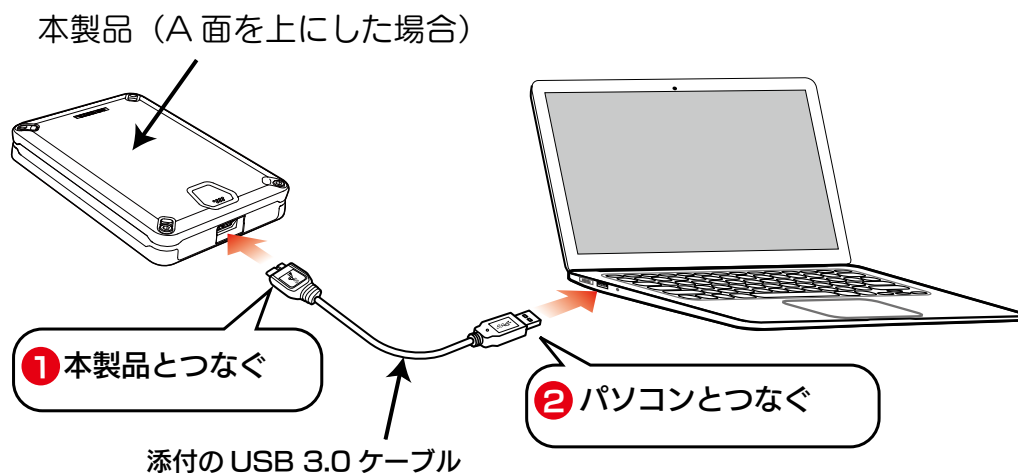
使う

本製品をパソコンにつないで、以下のような使い方ができます。

- ・通常のハードディスクのように、データの保存、読み出しをする
- ・「仮想 DVD-RW」を DVD-RW ドライブとして使用する（A 面を上にした場合）
- ・サポートソフト（CD-ROM）内のアプリを利用する（B 面を上にした場合）

A 面を上にしてパソコンにつないだ場合

1 A 面を上にしてパソコンにつなぎます。



2 ハードディスクと仮想 DVD が認識されます。



ハードディスク

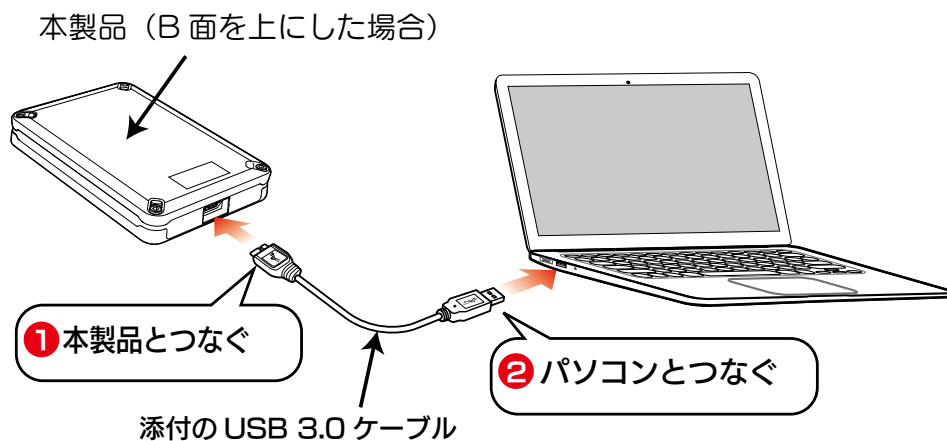


仮想 DVD

ハードディスクとして使用する他に、本製品の一部を「仮想 DVD-RW メディア」として使用できます。通常の DVD-RW ドライブと同様に、ISO イメージをマウントしたり、データを書き込んだりすることができます。OS 標準のライティングソフトで書き込み、消去ができます。

B 面を上にしてパソコンにつないだ場合

1 B 面を上にしてパソコンにつなぎます。



2 ハードディスクと CD-ROM が認識されます。



ハードディスク



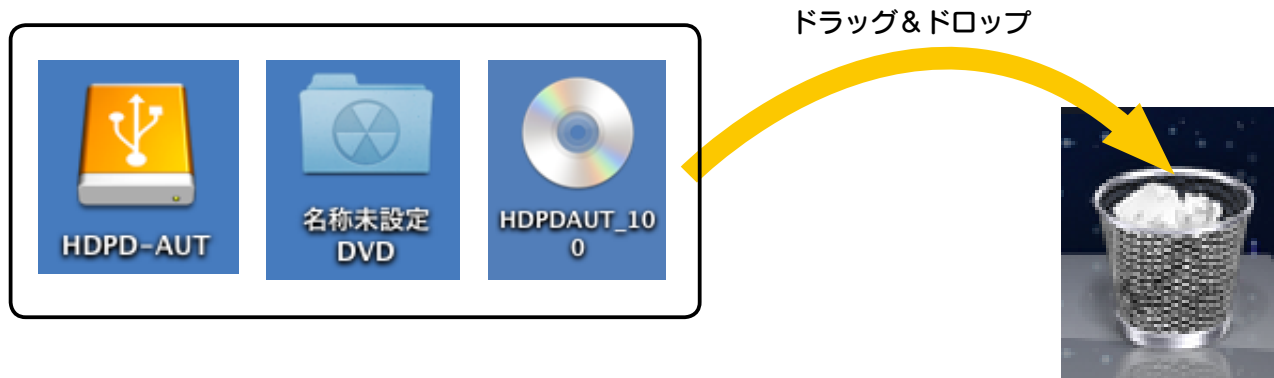
CD-ROM

ハードディスクとして使用する他に、本製品の一部をサポートソフト（CD-ROM）として使用できます。

取り外す

ここではパソコン起動中に本製品を取り外す場合の手順を説明します。

- 1 ハードディスク、DVD アイコン（A 面を上にした場合）、CD-ROM アイコン（B 面を上にした場合）をゴミ箱にすてます。



- 2 パソコンから USB ケーブルを抜きます。

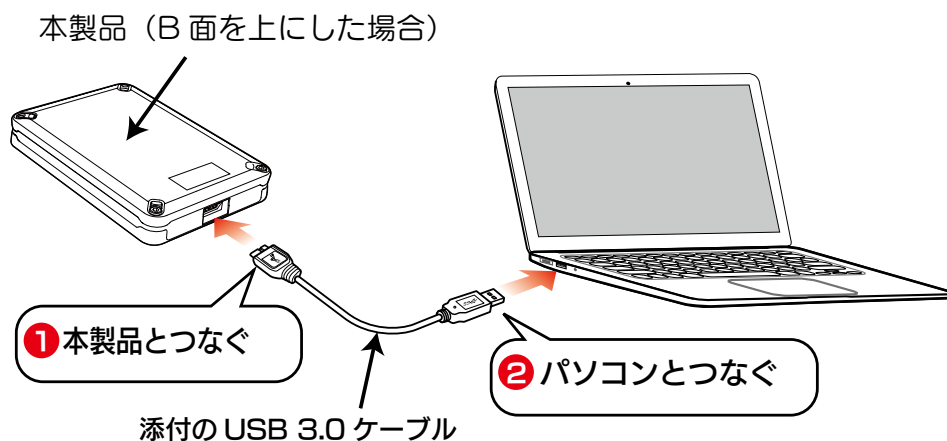
ケーブルはコネクターを持って抜きます。

姿勢表示アプリ G-SENS・MONITOR

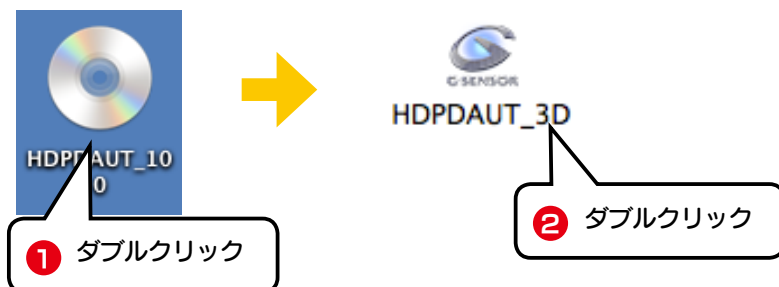
ここでは「G-SENS・MONITOR」の操作方法について説明します。

起動する

1 B面を上にしてパソコンにつなぎます。



2 デスクトップ上の CD-ROM アイコンをダブルクリックし、HDPDAUT_3D アイコンをダブルクリックします。



3 本製品が 3D モデリング表示されます。



（注意）

- 実際に傾けて確認するときには、デモモードに切り替えてお試しいただくことをお勧めします。デモモードについては、次ページ「デモモードについて」を参照。

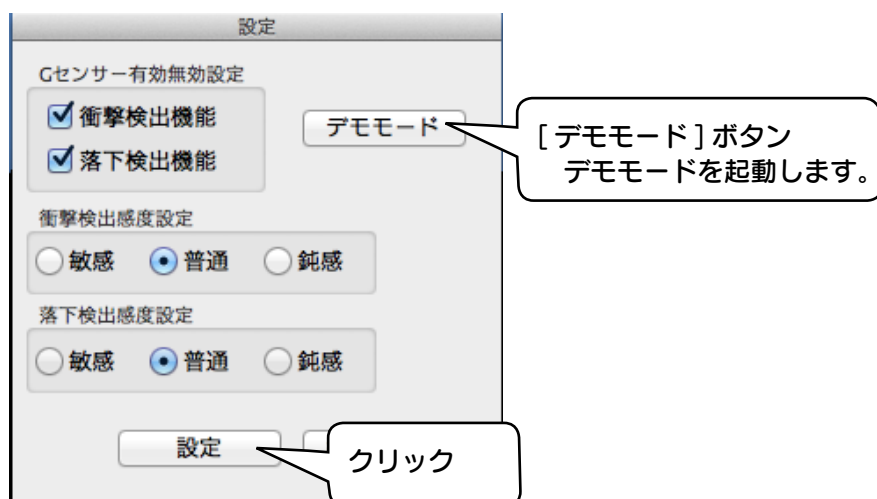
G センサーの感度を切り替える

本製品に搭載されている G センサーの感度を切り替えることができます。

- 1 「G-SENS・MONITOR」が起動している状態で、[HDPDAUT_3D] → [環境設定] をクリックします。



- 2 G センサー有効無効設定、および衝撃検出感度設定、落下検出感度設定を選択し、[設定] をクリックします。



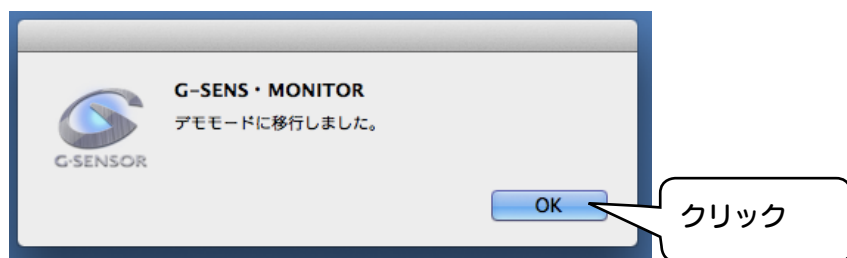
デモモードについて

デモモードを実行すると、ハードディスク本体を切り離し、姿勢状態のみを表示します。

- 1 [デモモード] ボタン → [OK] をクリックします。



2 [OK] をクリックします。



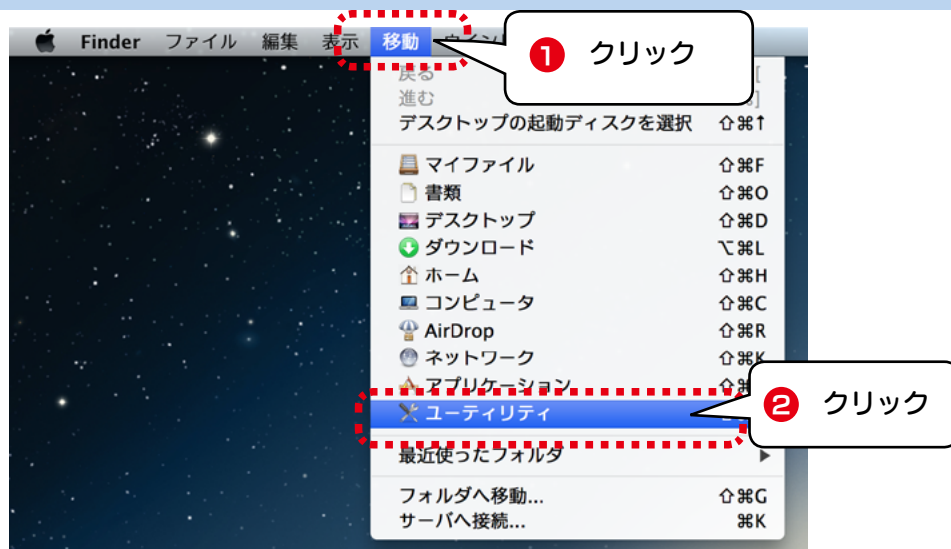
3 デモモードを終了する場合は、[G-SENS・MONITOR を終了] をクリックします。



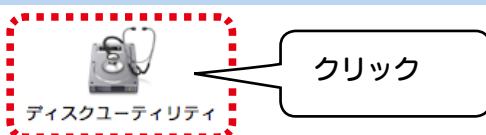
フォーマットする

- (注意) ●フォーマットするとデータはすべて消去されます。
必要なデータがある場合は、先に、別のメディア (CD-R、ハードディスク等) にデータをバックアップしてください。
- 一度フォーマットすれば、次回以降ご使用の際には、フォーマットは必要ありません。接続してそのまま使用できます。

1 メニューから [移動] → [ユーティリティ] の順にクリックします。



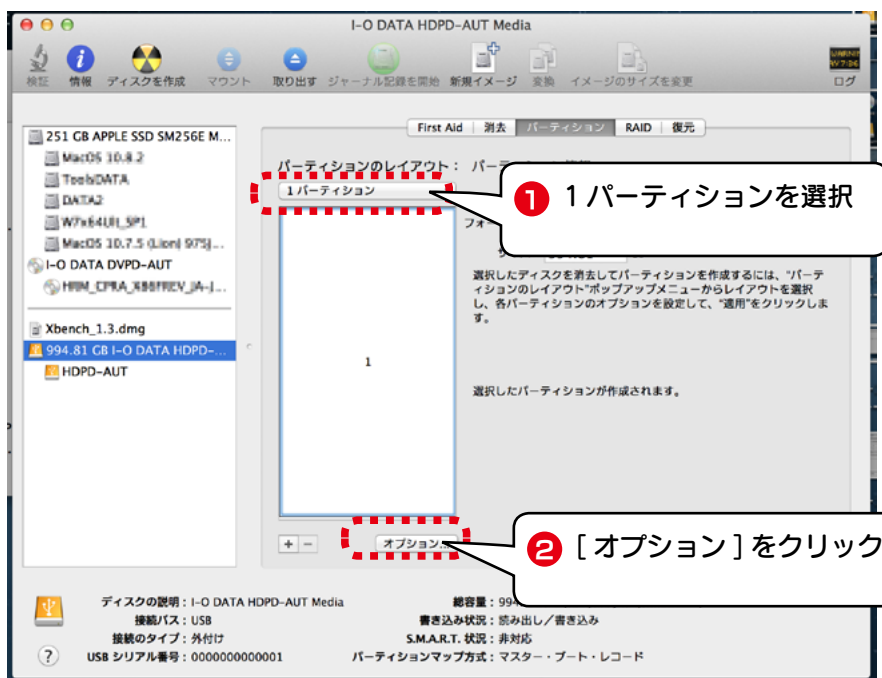
2 [ディスクユーティリティ] をクリックします。



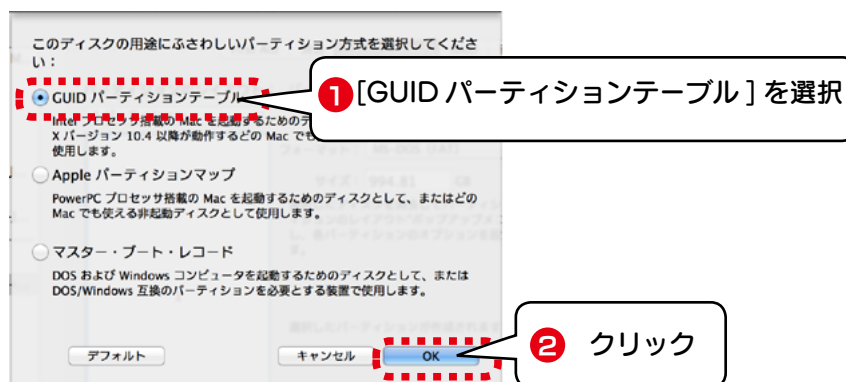
3 本製品を選択後、[パーティション] タブをクリックします。



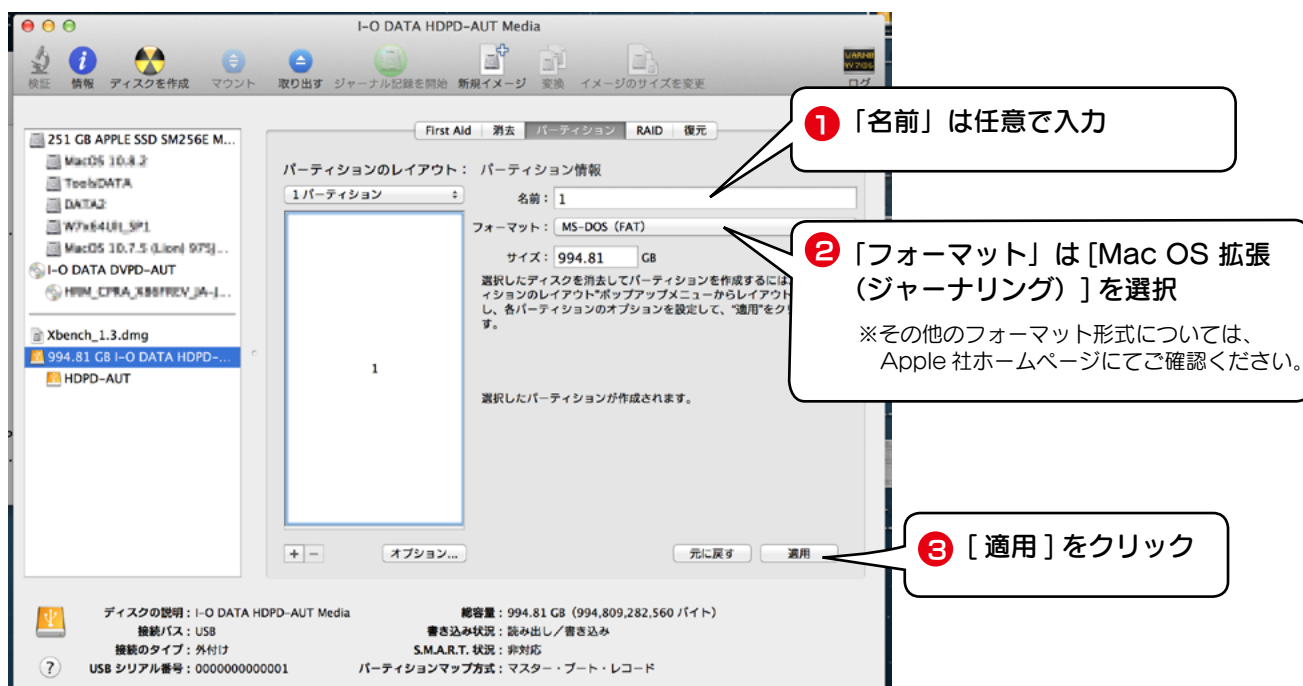
4 [1 パーティション] を選択して、[オプション] をクリックします。



5 [GUID パーティションテーブル] にチェックして、[OK] をクリックします。

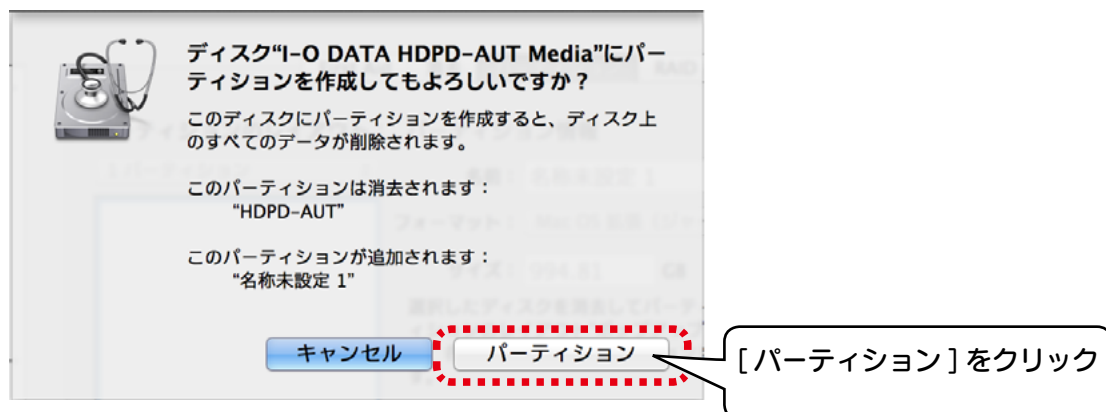


6 [名前]、[フォーマット] を入力して、[適用] をクリックします。



「パーティション」をクリックします。

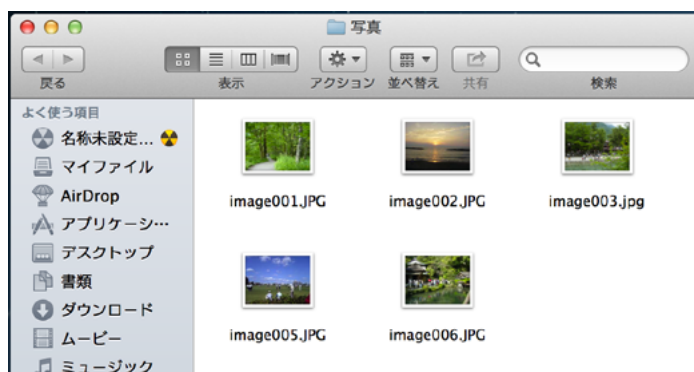
⇒フォーマットが始まります。



以上でフォーマット完了です。

ハードディスクにデータを書き込むことができます。

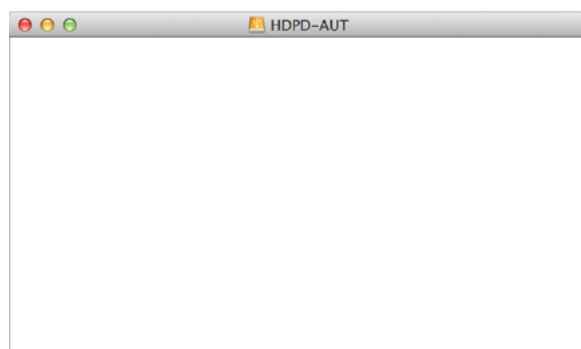
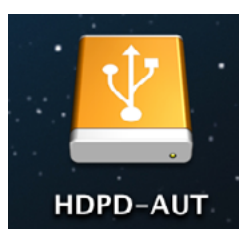
1 データの保存場所を開きます。



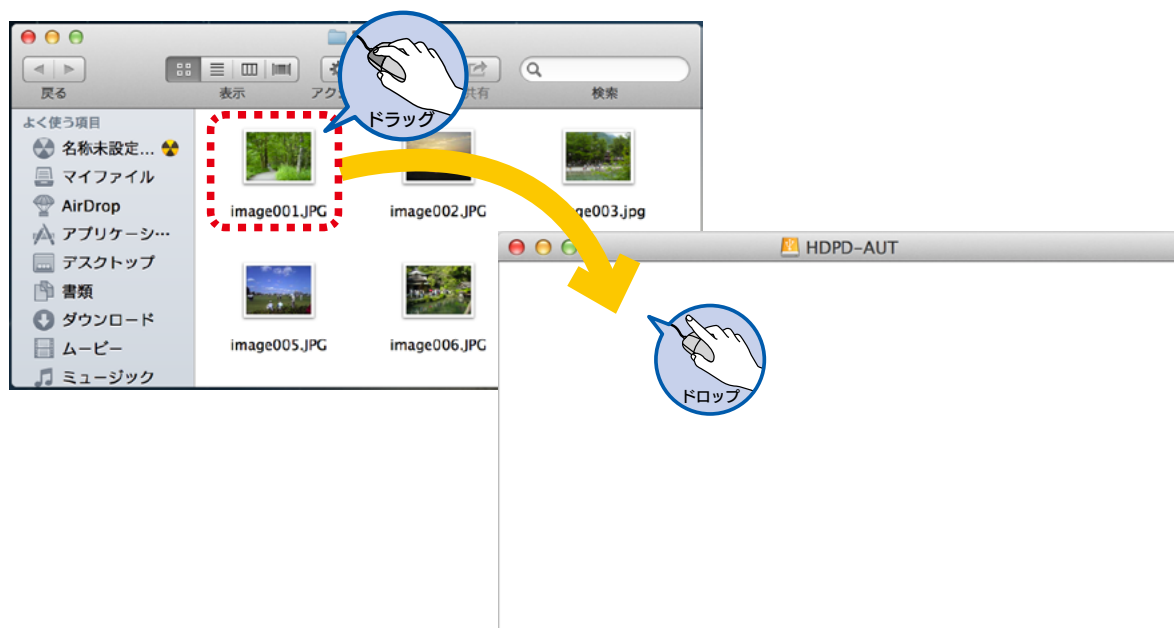
データの保存場所が不明な場合

ご使用のソフトメーカーにファイルの保管場所等
についてご確認ください。

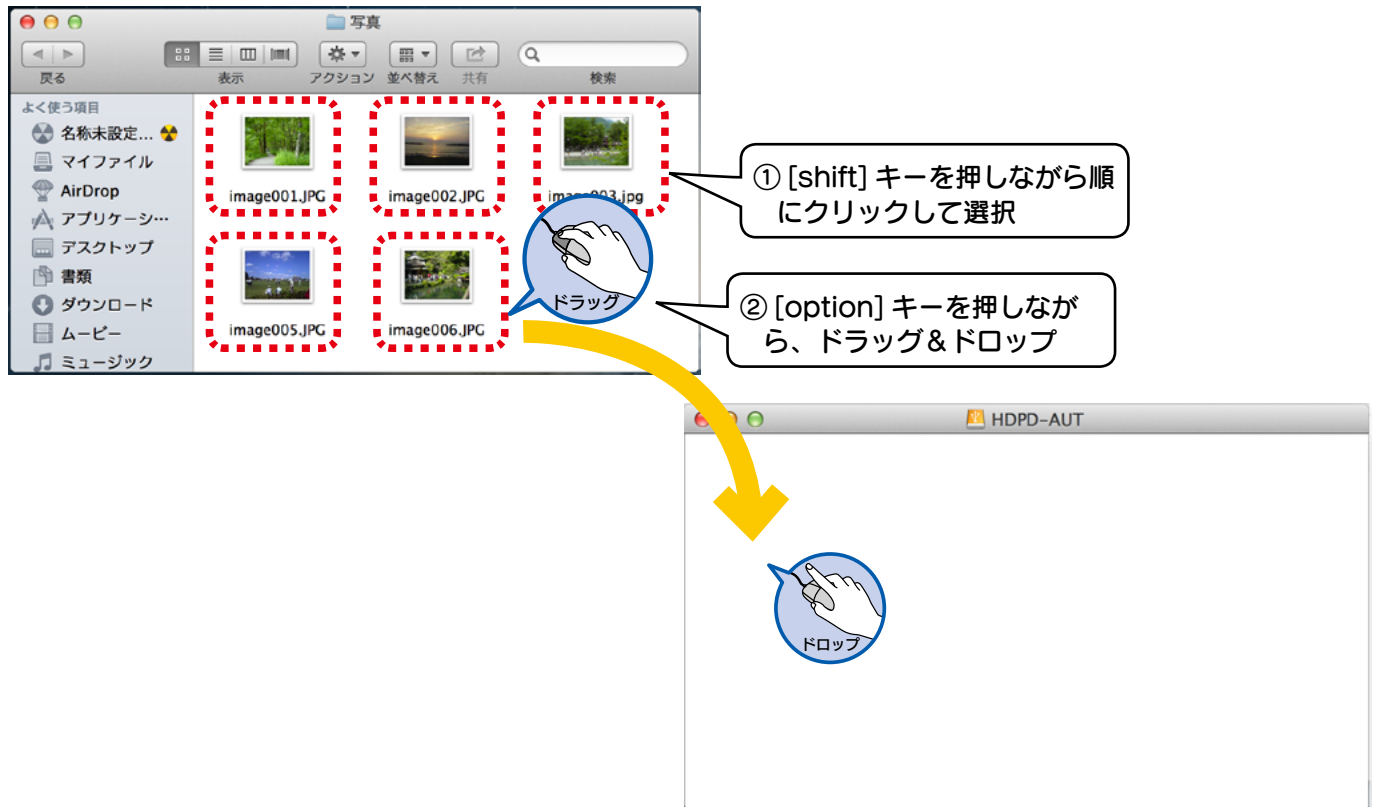
2 本製品（データの保存場所）を開きます。



3 データをドラッグ&ドロップしてコピーします。 [option] キーを押しながらコピーしたデータをドラッグ&ドロップします。 複数のデータをコピーする場合は、次ページを参照。

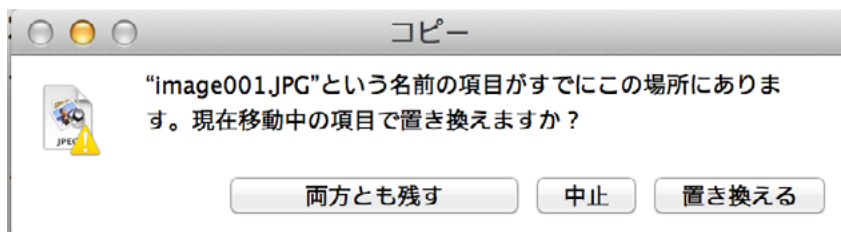


複数のデータをコピーする場合



コピー先に同じ名前のデータがある場合（上書きコピーする場合）

コピー先に同じ名前のデータがある場合、ウィンドウが表示され、動作を選択します。



両方とも残す ⇒ 自動でファイル名を変更し、データをコピーします。
中止 ⇒ データはコピーされません。
置き換える ⇒ 上書きコピーします。

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだ使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Apple、Mac、Macintosh は、米国およびその他の国で登録された米国 Apple Inc. の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。